

ワークショップ

年に数回、現在活動している作家の方々を招待してワークショップを開催しています。内容はホームページやチラシに掲載されますので、ご確認の上、お申し込みください。



ギャラリートーク

学芸員が企画展・コレクション展の作品の見どころや解説を行います。ご希望の際は、事前にお申し込みください。



**出前授業
出張ワークショップ**

「美術教育の充実」として、学校などの施設に向って、鑑賞の事業や、実技の授業を行っています。校内での教育カリキュラムの一環として活用してください。

常設展

山口長男、海老原喜之助、吉井淳二など郷土ゆかりの作家を中心とした「田代コレクション」（故田代光雄氏の作品のほか、現代美術の公募展「風の芸術展」（第10回展まで開催）や「枕崎国際芸術賞展（令和元年に第2回展開催）」の入賞作品、また郷土関係作家の作品を展示しています。



アートストリート「青空美術館」

立体アートが100基

枕崎市では「アートを通したまちづくり」として、現代美術の公募展「風の芸術展」ゆかりの立体作品を街中に設置し、まちそのものを「青空美術館」としてとらえています。令和元年に100基目の作品が完成しました。



作品名「枕崎 この地に生きる～大切な命～」
彫刻家 福元修一氏と市民70組108名の共同作品



このパンフレットは枕崎国際芸術賞展支援協会の協力で作成しております。



開館時間

9:00～17:00
(入館は閉館の30分前まで)
※展覧会・イベントの内容により閉館時間が変更になる場合があります。

休館日

月曜日（祝日の場合はその翌日）
年末年始
※展示替え、保守点検等で、臨時休館することがあります。

観覧料

無料
特別企画展など有料となる場合があります。
ホームページなどでご確認ください。



- 車** 国道226号「東本町」交差点から南薩縦貫道へ、踏切すぐ左折
- JR** 「枕崎駅」裏手へ片平山公園へ向けて徒歩5分
- バス** 「枕崎駅前」バス停を下車 JR 枕崎駅に向かい JR の道順で徒歩6分

2020.4月⇒2020.8月 ●上半期●

展示スケジュール



枕崎小学校の児童たちが立体作品を鑑賞しました。(南溟館入口)

枕崎市文化資料センター
南溟館 NANMEI MUSEUM OF ART
〒898-0013 鹿児島県枕崎市山手町175
電話 0993-72-9998

南溟館ではホームページで情報を発信しております
枕崎市 検索 ←CLICK! <https://www.city.makurazaki.lg.jp/>



April

4

May

5

抽象絵画の先駆者
山口長男展

4/25(土)～5/29(金)
第2、市民ギャラリー

1956年にベネチアビエンナーレに日本代表として出品するなど、日本の抽象絵画の先駆者として国際的に活躍した山口長男の展覧会を開催します。南溟館収蔵品の中から、油彩画、水彩画作品の他、貴重な陶器の絵付作品を展示します。



山口長男「赤い組立」南溟館蔵

June

6

インスタグラム展
～南薩のインスタグラマーより～

6/16(火)～7/3(金) 第1、市民ギャラリー

南南薩地域の「人・食・景色・暮らし」に密着したインスタグラマーと共同で開催するインスタグラム(写真)展です。自分の地元の魅力を再発見してみませんか? インスタ映え間違いなしのフォトスポットや人気のワゴンカフェなどもお楽しみください。



Instagramフォトコン

作品募集 「南薩とリっぽインスタグラムフォトコンテスト」を同時開催。入賞者には枕崎の豪華特産品をプレゼント。また同企画展にて展示します。

詳しくは「枕崎市文化資料センター南溟館」Instagram公式アカウントをチェック!



July

7

枕崎の埋蔵文化財展

7/5(日)～8/6(木)

市民ギャラリー
研修室

松之尾遺跡で採集・発掘された資料の展示です。



【松之尾遺跡の説明】

汐見町、花渡川の河口左岸に形成された海岸砂丘に位置する弥生時代終わりから古墳時代にかけての遺跡です。1972年、砂丘南側が工事によって削りとられ、埋葬遺構、土器、鉄器、貝輪などが出土。1979年には区画整理による発掘調査が行われ、土壙墓(どこうぼ)24基が、砂丘北側に発見されました。鉄刀・鉄鏃(てつぞく)などが副葬され、墓域全体に壺・高坏(たかつき)などがおかれていました。

参加者募集

勾玉づくり体験

8/2(日)午前9時～正午 南溟館
遺跡から発見される勾玉づくりを体験
受付:南溟館(先着30名)



写真はイメージです。

関好明日本画作品展



関好明「黒い雨」南溟館蔵

7/5(日)～8/2(日) 第1

南溟館の名誉館長である日本画家・関好明氏の作品展を開催します。関氏は現代美術のコンクール「風の芸術展」をはじめ、平成20年に館長を退任されるまで南溟館の運営に尽力されました。今回、南溟館において初の展覧会を開催します。

August

8

戦後復興75年のあゆみ
～我がまちふるさと枕崎写真展



昭和24年9月1日「市制祝賀会」片平山グラウンド

8/8(土)～8/20(木)

第1、市民ギャラリー

枕崎市内の記録写真を戦後75年を迎える今年、南溟館では、戦前、戦中、戦後とその激動の時代を逞しく生き抜いてきた枕崎の人々の軌跡を、貴重な写真資料の展示を中心に紹介します。

海老原喜之助没後50年展



海老原喜之助「朝の雪」南溟館蔵

8/22(土)～9/22(火) 第1、第2、市民ギャラリー

海老原喜之助没後50年を偲び、南溟館所蔵の田代コレクション(故田代光雄氏)を中心に展示。南溟館は、昭和63年開館当初、本市出身で鹿児島県伊佐市に医院を開設していた田代光雄氏より、山口長男、海老原喜之助、吉井淳二など郷土ゆかりの作家の作品171点を寄贈されており、今回、海老原喜之助没50年展とあわせ絵画を一同に展示します。海老原喜之助は、鹿児島県出身で大正末期から昭和にかけてフランスと日本で活躍し、吉井淳二とともに南日本美術展の創設に尽力し、鹿児島島の美術発展に大きく貢献。「エビハラ・ブルー」と呼ばれた鮮やかな青の色彩を堪能ください。

予告

【特別企画展】

絵本作家スズキコージ・詩人アーサー・ピナード展

11/22(日)～1/17(日) 全館

「そもそもオリンピック」(玉川大学出版部) アーサー・ピナード作、スズキコージ画

